

コーパス調査による文法性判断の有効性 —「～てならない」を例にして—

杉 村 泰

要 旨

本稿はコーパスにより帰納的に文法規則を導くことの有効性について論じたものである。考察に当たっては日本語の文末表現「～てならない」を対象にして、コーパスによる出現度数を根拠に分析を行った。その結果、「～てならない」は「気がする」、「思える」、「思われる」などとの共起を典型的な用法としながら、「～てたまらない」、「～てしかたがない」と互いに重なり合っていることが分かった。

さらに、本稿ではコーパスによる実態調査とアンケートによる意識調査との違いについても分析し、「暑くてならない」のように話し手の意識としては使えても、実際にはあまり使われない表現のあることを明らかにした。こうした成果は辞書や文法書の編纂、日本語教育にも資するものと思われる。

【キーワード】 コーパス、アンケート調査、～てならない、～てたまらない、
～てしかたがない

1. はじめに

日本語の文法性判断で迷う場合、辞書や文法書で調べたり他人に聞くことも可能である。しかし、人によって判断に揺れのある場合、大量の言語資料であるコーパスを使うことにより、使用の実態・傾向を示す方法が有効である。

筆者は以前ある上級日本語話者に「期待されてならない」という表現が正しい日本語かどうか聞かれた。筆者の語感では不自然な日本語であったが、世間では使っている人もいるような気がした。そこでインターネットのgooでページ検索したところ、「フィルムによる劇場公開が期待されてならない」という例が1件ヒットした⁽¹⁾。「期待される」は辞書形だけでも約8万件ヒットするため、それ自体は珍しい表現ではない。そのため「期待される」と「～てならない」の共起が、あまり一般的なものではないことが推測できる。

以下、本稿では「～てならない」を例にして、コーパスにより帰納的に文法規則を導くことの有効性を論じる。それと同時に、コーパスによる実態調査とアンケートによる意識調査とでは結果に違いの出ることを指摘する。

2. コーパスの利点と注意点

ある表現の文法性を判断するには、(a)本人の内省に頼る、(b)辞書や文法書で調べる、(c)他人に聞いたりアンケートをする、(d)コーパスを使うといった方法が考えられる。これら

はそれぞれ次のような特徴を持っている。

(a) 内省

(利点) 言語環境や文脈による微妙な意味の違いや文法性の差が判断できる。

(注意点) 個人の頭では判断に偏りが生じたり、必要な用法を見逃すおそれがある。

(b) 辞書・文法書

(利点) 専門家による意味記述、文法説明、文法性判断が得られる。

(注意点) 編著者の語感に左右される場合があり必ずしも絶対ではない。

(c) 他人に聞く・アンケート

(利点) 個人の判断に偏らず広く意見が求められる。質問が適宜加工できる。

(注意点) 文脈や他のアンケート項目の影響を受けるおそれがあり、ひどい時には誘導尋問の危険性もある。

(d) コーパス

(利点) 大量の言語資料を使うことにより個人差を捨象できる。基本的に自然に産出された表現が得られる。アンケートと違い、他の項目の影響や誘導尋問を避けることができる。

(注意点) 必ずしも実例にある表現が正しく、実例にない表現や少数の表現がおかしいわけではない。非文を得るのが難しい。結局は分析者の判断が必要である。

こうした特徴を踏まえた上で、内省、辞書や文法書、アンケート等の不備を補う意味からもコーパスの活用は重要である。言うまでもないことであるが、コーパス自体が文法性判断をしてくれるわけではない。コーパスでできることとできないことを知った上で、文法性判断の「道具」として使用することが必要である。

3. 文法性判断

3-1 辞書、アンケート、コーパス

「～てならない」には「気がしてならない」「思えてならない」のように誰もが適切であると判断するものや、「*赤くてならない」「*寝てならない」のように誰もが不適切であると判断するものもある。しかし、中には判断に搖れの生じるものもある。例えば Makino and Tsutsui (1995) は、次のような例文判断を示している。(下線は筆者による)

- (1) 買ってきたばかりのテレビがすぐ壊れてしまい、腹が立ってならなかった。⁽²⁾
- (2) 東京の夏は暑くてならない。
- (3) ??私の家は狭くてならない。→私の家は狭すぎる。
- (4) *日本の物価は高くてならない。→日本の物価は高すぎる。
- (5) ??久しぶりにジョギングしたら、足が痛くてならなかつた。
- (6) *あの先生は厳しいから、嫌いでならない。
- (7) *あの人はとても優しいから、好きでならない。
- (8) *朝飯を食べて来なかつたので、腹が減ってならない。
- (9) 暑いので、のどが渴いて {たまらない/仕方がない/*ならない}。

ところが、筆者の行ったアンケート調査や⁽³⁾コーパス調査 (goo のページ検索)⁽⁴⁾では必ずしもこれと同じ結果とはならなかつた。これらの比較を表1に示す。

表1 文法性判断の比較

	Makino and Tsutsui (1995) の文法性判断	アンケートで言えると 答えた人數 (13人中)	goo のページ検索 によるヒット件数
腹が立ってならない	適切	12人 (92.3%)	39件
暑くてならない	適切	6人 (46.2%)	6件
狭くてならない	??	4人 (30.8%)	1件
物価が高くてならない	*	2人 (15.4%)	0件
痛くてならない	??	9人 (69.2%)	26件
嫌いでならない	*	10人 (76.9%)	8件
好きでならない	*	5人 (38.5%)	24件
腹が減ってならない	*	8人 (61.5%)	0件
喉が渴いてならない	*	10人 (76.9%)	2件

表1においてMakino and Tsutsui (1995)は、「腹が立ってならない」と「暑くてならない」をともに適切な表現であるとしている。たしかに「腹が立ってならない」はアンケートでもほとんど全ての人が言えると答えており、goo検索でも39件検索された。しかし、「暑くてならない」はアンケートで半数の人しか言えると答えておらず、goo検索でも6件しか検索されなかった。しかも「暑い」は辞書形では「腹が立つ」の13倍（「暑い」237,894件、「腹が立つ」18,382件）検索されるにもかかわらず、「暑くてならない」は「腹が立ってならない」の6.5分の1しか検索されなかった。このことから「暑くてならない」は「腹が立ってならない」に比べ使いにくい表現であることが推察される。

一方、Makino and Tsutsui (1995)が不適切とした表現でも、「嫌いでならない」「喉が渴いてならない」のようにアンケートで13人中10人が言えると答えたものや、「痛くてならない」「好きでならない」のようにある程度の数の実例が出てくるものもある。

(10) どうもまた風邪を引いたらしくて調子がいまいちです。喉が痛くてならないイッスねえ。
(<http://www.ask.ne.jp/~aikou/zare/kako/nikki11.htm>)

(11) 私は、証拠を挙げ、妥当な推論を加え、反証を集めることで臨死体験を否定してくれる科学が、好きでならない。
(<http://www.onisci.com/261.html>)

こうした現象は、話し手の意識と使用の実態とでは違があることを示している。

3-2 話し手の意識と使用の実態

「暑くてならない」の文法性について、Makino and Tsutsui (1995)は適切であると判断し、アンケート調査では13人中7人が不適切であると判断した。一方、“「日本語教師塾」Yasoo Japan!”のShujiさんは類義表現の「～てたまらない」と比較して、「×暑くてならない、○暑くてたまらない」との判断を示している。そこでgoo検索で両者の使用状況を見たところ、「暑くてならない」が6件しか検索されなかったのに対し、「暑くてたまらない」は1,331件も検索された。

(12) 朝の通勤電車は異常に暖房が効いているので暑くてなりません。

- (13) 標高1000m以上(多分1500mぐらい)の場所に3日もいると、下界に降りた後は暑くてたまらない。

(http://lynx2.felix.or.jp/~yugo/diary/2000-05/diary07.html)

例文(12)を見る限り、「暑くてならない」はさほど不自然には感じられない。しかし、コーパスによる実態調査では、我慢できないほど暑いということが言いたい場合、実際には「暑くてたまらない」を使うのが一般的であることが示される。

そこでgoo検索によって表1の「～てならない」を「～てたまらない」、「～てしかたがない」と比較してみることにする。下の表2を見ると、「腹が立ってならない」(39件)は「暑くてならない」(6件)より多いが、「腹が立ってしかたがない」(853件)と比べると20分の1しかないことが分かる。これにより、我慢できないほど腹が立つということが言いたい場合には、「腹が立ってしかたがない」を使うのが一般的であると推察される。同様に「狭くてならない」以下の表現も、「～てたまらない」、「～てしかたがない」と比べると圧倒的に数が少ない。Makino and Tsutsui (1995) はこれらの表現を不適切であるとしているが、それはこうしたことからも説明できる。

アンケートではこれらの「～てならない」が言えると答えた人もいる。しかし、これらは話し手の意識としては使えても、実際にはあまり使われない表現であると考えられる。アンケートによる意識調査とコーパスによる実態調査とでは、このように異なる結果が導かれることに注意する必要がある。

表2 gooによる検索結果1(数字はヒット件数)

腹が立ってならない	39	腹が立ってたまらない	20	腹が立てしかたがない	853
暑くてならない	6	暑くてたまらない	1,331	暑くてしかたがない	561
狭くてならない	1	狭くてたまらない	21	狭くてしかたがない	68
物価が高くてならない	0	物価が高くてたまらない	10	物価が高くてしかたがない	25
痛くてならない	26	痛くてたまらない	1,547	痛くてしかたがない	1,372
嫌いでならない	8	嫌いでたまらない	91	嫌いでしかたがない	245
好きでならない	24	好きでたまらない	4,206	好きでしかたがない	1,780
腹が減ってならない	0	腹が減ってたまらない	40	腹が減ってしかたがない	193
喉が渴いてならない	2	喉が渴いてたまらない	27	喉が渴いてしかたがない	122

4. 「～てならない」の典型例

4-1 感情、感覚

コーパスによる調査の結果、「腹が立ってならない」や「暑くてならない」は「～てならない」の典型的な用法ではないことが明らかとなった。先行研究では Makino and Tsutsui (1995: 221) が “Naranai is used to express insurmountable psychological or physical feeling” (「～てならない」は精神的な感情や肉体的な感覚に打ち勝つことのできない様子を表す) と説明し、グループ・ジャマシイ (1998: 258) は「自然にある

感情や感覚が起こってきて自分でコントロールできない状態を表す。押さえようとしても押さえられない状態で、そのためその感情の程度が非常に高いことを表す場合が多い。「…てならない」の前には感情や感覚や欲求を表す言葉が用いられ、ものの属性や評価についての言葉を用いると、不自然な文になる」と説明している。

しかし、Makino and Tsutsui (1995) 自身、「痛い」「嫌いだ」「好きだ」のように感情や感覚を表すものでも「～てならない」にならないものもあるとしているように、単に感情や感覚というだけでは説明できない部分がある。グループ・ジャマシイ (1998) の「自分でコントロールできない感情や感覚」という説明も誤りではないが、の中でも「～てならない」と共起しやすいものとそうでないものとがあることは説明できていない。森田・松木 (1989) の、「～てならない」には心情・状態を表す語句を受ける場合と自発を表す語句を受ける場合とがあるという説明も同様である。こうした場合、コーパスを活用することによって典型的な用法とそうでない用法とを区別することができる。

4-2 コーパスによる分析

次に日本語コーパスを利用して「～てならない」の使用の実態を見る。アンケート調査は話し手の意識調査としては有効である。しかし、先の「暑くてならない」のように実際にはあまり使わなくても、言おうと思えば言えそうなものは「言える」と答えてしまう危険性がある。コーパスの利用はこうした点を解決するのに有効である。そこで今回はCD-ROM版「新潮文庫の100冊」のうち日本人作家による67冊を対象に、「～てならない」「～てたまらない」「～てしかたがない」がどのような語と共に起するのかを調査した⁽⁵⁾。表3に出現頻度順に上位10例を示す。

表3 出現頻度順上位10例（カッコ内は出現件数）

	～てならない（全348件）	～てたまらない（全159件）	～てしかたがない（全93件）
1	気がしてー (69)	～したくてー (23)	気がしてー、涙が出てー (8)
2	思えてー (39)	嬉しいー (12)	～したくてー、見てー、
3	思われてー (32)	おかしくてー (11)	気になってー、
4	不思議でー (19)	好きでー (8)	(7)
5	気になってー (12)	嫌でー (6)	思えてー (5)
6	～したくてー (11)	悔しくてー、不安でー (5)	思われてー、感じられてー (3)
7	残念でー (10)		
8	かわいそうでー (9)	気の毒でー、可愛くてー、	
9	気の毒でー、可愛くてー (8)	心配でー、欲しくてー (4)	腹がへってー、震えてー、残念でー、羨ましくてー、おかしくてー (2)
10			

表3を見ると、「～てならない」は「気がする」「思える」「思われる」との共起だけで140件を数え、全体の4割を占めることが分かる。これらは何かが自発的に心や頭に浮か

んだことを表す表現で、「～てならない」の中でも圧倒的に多く出現する。これに対し、「～てたまらない」は「～したい」「嬉しい」「おかしい」などの感情表現との共起が多く見られる。また、本稿の最後に示した表5からは「暑い」「痛い」などの感覚表現との共起も多いことが分かる。その一方で、「～てならない」と「～てたまらない」は典型的にはこうした表現と結びつきながらも、互いに重なり合っていることが分かる。

一方、「～てしかたがない」の場合、「気がする」「思える」「思われる」との共起が「～てたまらない」より多く見られる。これは表4に示す goo 検索の結果からも明らかである。表4で特徴的なのは、「気になる」が「～てしかたがない」と共起しやすいということである。Makino and Tsutsui (1995) は「気になってならない」を「～てならない」の代表例として挙げているが、「～てならない」の代表例としては「気がしてならない」の方がふさわしいと考えられる。

表4 goo による検索結果2 (数字はヒット件数)

気がしてならない	23,577	気がしてたまらない	335	気がしてしかたがない	2,734
思えてならない	11,270	思えてたまらない	20	思えてしかたがない	3,548
思われてならない	1,623	思われてたまらない	3	思われてしかたがない	273
気になってならない	192	気になってたまらない	228	気になってしかたがない	20,010

また、表5を見ると、「～てしかたがない」は「おかしい」や「痛い」などの感情・感覚表現とも共起することが分かる。以上のことから、「～てしかたがない」は「～てならない」「～てたまらない」の両方と広く重なり合っていることが分かる。このほか「～てしかたがない」の特徴としては、「腹が立つ」「疲れる」「腹が減る」「喉が渴く」など生理的な状態を表す語との相性が、「～てならない」や「～てたまらない」よりもいい点が挙げられる。

以上、「～てならない」は類義表現の「～てたまらない」や「～てしかたがない」と重なり合いながらも、「気がする」「思える」「思われる」のような表現と典型的に共起することが明らかとなった。

5. 「～てならない」の意味

最後に「～てならない」の意味について論じる。「～てならない」はある感情や感覚が自然に込み上げてきて、その気持ちが抑え切れず「どうにもならない」状態を表す場面で使われる⁽⁶⁾。典型的には「気がする」「思える」「思われる」のように何かが自発的に心や頭に浮かんだことを表す場合に使われる。「不思議でならない」「残念でならない」「案じられてならない」「責められてならない」などもこの延長で説明できる。

- (14) 「(前略) ……なにか起るような気がしてなりません」(立原正秋『冬の旅』)
- (15) 気のやさしい源氏は、姫君を捨ててかえりみなかった自分が、責められてならなかった。(田辺聖子『新源氏物語』)

「見える」「聞こえる」も「～てならない」となる場合には、普通の「目が見える」「耳が聞こえる」の意味ではなく、「思える」「思われる」の意味で使われている。

- (16) 園子は、その青いガス灯がなにかおそろしいもののように見えてならなかった。
(新田次郎『孤高の人』)
- (17) 加藤は、彼の履いているスキーが雪を踏みしめて発する音が、今朝の老人のいったえれえこった、えれえこったという言葉に聞えてならなかった。(新田次郎『孤高の人』)

次の例文(18)～(22)の表現は筆者には不自然に感じられる。しかし、これらの表現も「不審に思う」「嫌いに思う」「自慢に思う」「心に響く」「期待される」といった感情が抑え切れないことを表しており、「思える」等の延長で考えることができる。

- (18) それがなぜこうさわがれているのか、不審でならなかった。(星新一『人民は弱し官吏は強し』)
- (19) 最近自分のイラストが嫌いでなりません。なんでこんなに下手かなぁ。
(<http://www.magiccity.ne.jp/~diary/967/>)
- (20) カシオペアは娘の美しさが自慢でならず、ある日つい口を滑らせてしまいます。
(<http://astro.magma.ad.jp/begin/autumn.html>)
- (21) ただ、チベットのある賢者が言った言葉が響いてならない。
(<http://www2c.airnet.ne.jp/assisi/Life/Mind/1997/19970205.htm>)
- (22) マイナーではあるが良質な企画が、図書館マーケットを見込んで実現できるような環境が生まれることが期待されてならない。
(<http://www.iic.tuis.ac.jp/edoc/original/itoh/sdk-2.html>)

また、「～てならない」は「好きだ」「おかしい」「痛い」「寒い」などの感情・感覚表現とも共起し、そうした気持ちが抑え切れないことを表す。こうした「～てならない」は「～てたまらない」、「～てしかたがない」と置き換えてもさほど意味は変わらず、「～てたまらない」、「～てしかたがない」と連続した表現であることが分かる。「嫌いだ」や「好きだ」は「思える」の延長としても説明できるし、「～てたまらない」、「～てしかたがない」からの連続としても説明できる。)

- (23) 山の眺めは好きでならなかった。(水上勉『雁の寺』)
- (24) 石井まで、もうおかしくてならないように吹き出した。(福永武彦『草の花』)
- (25) どうもまた風邪を引いたらしくて調子がいまいちです。喉が痛くてならないッスねえ。
(<http://www.ask.ne.jp/~aikou/zare/kako/nikki11.htm>)
- (26) あ、あ、あ、あ、抹茶アイス、小豆、もち。なんと、よろし。その組み合わせ。さむくて寒くてならない今日も、抑えずにはおられぬのであった。
(<http://www.sfc.keio.ac.jp/~s99343ak/intiki'99.10.htm>)

一方、「～てたまらない」は⑦に示す「我慢できない」という意味の「堪らない」から派生し、⑧のような表現を経て意味的につながっていると考えられる。

- (27) 寝不足よりも空腹がたまらなかったのだ。(椎名誠『新橋烏森口青春篇』)
- (28) 何かいい気持でたまらなかった。(山本有三『路傍の石』)
- また、「～てしかたがない」は⑨に示す「対処できない」という意味の「仕方がない」から派生し、⑩のような表現を経て意味的につながっていると考えられる。
- (29) 然し実際は疑われても仕方がない。(志賀直哉『好人物の夫婦』)

30 「ほんと真実に未だ児童で仕方が有ません」(島崎藤村『破戒』)

6. まとめ

本稿では言語の規則は習慣の産物であるという立場から、コーパスによって帰納的に文法規則を導くことの有効性について論じた。これは言語研究のみならず言語教育にも有益であると思われる。教師にとっては文法性判断の手助けになるし、学習者にとっても自ら言語資料に触れることにより、実感として文法を身につけることができる。

本稿で分析した「～てならない」、「～てたまらない」、「～てしかたがない」の3つの表現は、次のように意味記述することができる。

「～てならない」

話し手の感情や感覚が自然に込み上げてきて、抑えきれないほどであることを表す
「～てたまらない」

話し手の感情や感覚、状態の程度が大きくて、我慢できないほどであることを表す
「～てしかたがない」

話し手の感情や感覚、状態の程度が大きくて、対処できないほどであることを表す
しかし、これらの表現は言葉によって説明するよりは、むしろ実例によって使用の傾向を
示した方が、理解もしやすいし教育上も効果があると思われる。

本稿で取り上げたテーマは、今後さらに研究を進めることにより、自動詞表現や自発表現の研究に貢献するものと思われる。さらに、人間の感情や感覚というものについて、言語の面からアプローチする一つの方法としても有益であると思われる。

表5 gooのページ検索による調査結果

(2001年8月9日、10日実施)

	辞書形 ¹⁾	~てなら ない ²⁾	~てたま らない ³⁾	~てしか たがない ⁴⁾		辞書形	~てなら ない	~てたま らない	~てしか たがない
気になる	489,866	192	228	20,010	疲れる	81,743	6	25	266
気がする	482,784	23,577	335	2,734	腹が減る	2,092	0	40	193
思える	202,104	11,270	20	3,548	喉が渇く ⁵⁾	2,535	2	27	122
思われる	475,336	1,623	3	273	甘い	242,206	1	10	15
考えられる	267,740	15	0	21	からい ⁶⁾	-----	0	11	6
考える	1,099,740	0	0	3	おいしい	438,886	2	67	44
期待される	78,321	4	0	0	うまい	258,944	0	16	24
見える	714,460	606	29	2,658	まずい	142,296	0	4	25
聞こえる	152,980	240	7	339	痛い	324,550	26	1,547	1,372
不思議だ	36,004	4,430	1,253	3,254	かゆい ⁷⁾	25,248	16	590	476
暑い	237,894	6	1,331	561	広い	413,670	0	1	1
寒い	274,283	19	558	746	狭い	252,218	1	21	68
暖かい	164,284	0	1	0	高い ⁸⁾	1,623,233	0	17 (10)	32 (25)
涼しい	62,593	0	2	6	安い	775,778	0	2	0
腹が立つ	18,382	39	20	853	好きだ	302,307	24	4,206	1,780
怒る	73,327	0	1	4	嫌いだ	52,060	8	91	245
怒れる	3,697	0	0	7	嫌だ	79,845	31	939	1,114
くしゃみが出る	624	0	5	1	おかしい	279,268	43	458	430

- 1) 形容動詞は終止形と連体形の合計。
- 2) 検索は「~てならない」、「~てならなかった」、「~てならなく」、「~てならなけれ」、「~てなららず」、「~てならぬ」、「~てならん」、「~てならねえ」、「~てなんねえ」、「~てなりません」を対象とした。
- 3) 検索は「~てたまらない」、「~てたまらなかった」、「~てたまらなく」、「~てたまらなけれ」、「~てたまらず」、「~てたまらぬ」、「~てたまらん」、「~てたまらねえ」、「~てたまんねえ」、「~てたまりません」を対象とした。
- 4) 検索は「~てしかたがない」、「~てしかたがなかった」、「~てしかたがなく」、「~てしかたがなけれ」、「~てしかたがありません」、「~てしかたがねえ」を対象とした。さらに「しかたがない」は「しかたない」、「仕方がない」、「仕方ない」、「しょうがない」の形も検索した。
- 5) 「喉が渇く」は「のどが渇く」「喉がかわく」「のどがかわく」の形も検索した。
- 6) 「からい」は「辛い」の形も検索した。辞書形は277,227件ヒットしたが、この中には「からいも」や「辛(つら)い」など無関係のものが大量に出てくるので省略した。
- 7) 「かゆい」は「痒い」の形も検索した。
- 8) 括弧内の数字は、左の数字のうち「値段が高い」の意味で使われたものの数を示す。

注

- (1) このときは辞書形の「期待されてならない」のみを検索した。今回の調査では「～てならない」の活用形までを対象として検索し、4件ヒットした。検索の詳細は表5を参照。
- (2) ル形の「～てならない」が発話時点における話し手の心的態度（モダリティ）を表すのに對し、タ形の「～てならなかった」は客觀化された表現となる。タ形の場合、相対的に許容度が増すように思われるが、今回の調査でははっきりした結論は言えない。
- (3) 2001年2月10日、静岡日本語教育センターにて実施。回答者は日本語教師養成講座受講生（静岡市民）13名。
- (4) 本稿のコーパス調査はインターネットのgooによるページ検索を利用した。インターネットの検索エンジンは、コロケーションの設定などで制約があるが、ホームページという大量の電子化コーパスを手軽に検索できるという利点がある。
- (5) インターネットの検索エンジンでは「～てならない」表現全体を対象に検索するのが難しいため、ここではCD-ROM版「新潮文庫の100冊」を使用した。
- (6) 杉本（1988：224-225）は「自分の意のままならぬ心の動きを表わす自発表現を「叙情の自発」と名づけておこう。「叙情の自発」は最も自発らしい自発であり、種々の自発表現の核となるものである。この「叙情の自発」は、その意味の特性上「～てならない」「～てしようがない」という表現形式をとりやすい」と論じている。

付記：本稿は第2回中日文化教育研究フォーラム（2001年9月1日於大連外国语大学）において、「日本語コーパスを利用した文法教育・文法学習－「～てならない」を例に－」と題して口頭発表したものと発展させたものである。大連外大の宋協毅先生ならびに当日コメントを下さった方々に心より感謝致します。

参考文献

- (1) グループ・ジャマシイ（1998）『日本語文型辞典』くろしお出版。
- (2) 杉村泰（2001）「日本語コーパスを利用した文法教育－「～てならない」と「～てたまらない」－」『日本語電子化資料収集・作成－コーパスに基づく日本語研究と日本語教育への応用を目指して－（平成12年度名古屋大学教育研究改革・改善プロジェクト報告書）』、82-111. (PDF版：<http://prairie.lang.nagoya-u.ac.jp/J-corpus/>)
- (3) 杉本和之（1988）「現代語における「自発」の位相」『日本語教育』66, 217-228.
- (4) 森田良行・松木正恵（1989）『NAFL選書5 日本語表現文型』アルク。
- (5) Makino, Seiichi and Michio Tsutsui (1995) "A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar" The Japan Times.
- (6) 「日本語教師塾」Yasoo Japan! 勢生研究録（第15巻 2000.5月29日～2000.6月16日）
(<http://ha2.seikyou.ne.jp/home/Yasuo.Ouchi/jukugoroku15.html>)

（名古屋大学言語文化部）

The Effectiveness of Judgement of Grammaticality through CorpusAnalysis: The usage of *-te naranai*

SUGIMURA Yasushi

The purpose of this paper is to argue the effectiveness of corpus analysis in formulating the definition of grammatical rules inductively. In this paper, we analyze the meaning of the Japanese sentence-final element *-te naranai* 'unbearably ...', based on the frequency of its appearance in a corpus. As a result, it is clear that on the one hand *-te naranai* typically co-occurs with the predicates *kigasuru* 'have a feeling that ...', *omoeru* 'seem that ...' or *omowareru* 'seem that ...', and on the other hand it partially overlaps with *-te tamaranai* and *-te shikataganai* (which also mean 'unbearably ...').

Furthermore, we analyze the distinction between corpus-based research and questionnaire-based research on the introspection of native speakers. As a result, it becomes clear that there are some expressions like *atsukute naranai* 'unbearably hot', which speakers judge as acceptable but which are in fact rarely used. The results of this study may be useful when compiling dictionaries and grammar books as well as helpful in Japanese language teaching.

(Faculty of Language and Culture, Nagoya University)